

■めざす姿 ・施策の推進により実現をめざすまちの姿(市民の生活やまちの状態など)を掲げています。
 【重点施策】2040年に実現をめざすまちの姿
 ※設定年次が長期に及ぶため、「2025年までに実現したい具体的な状態」を併記
 【基本施策】実践計画の終了する2025年までに実現をめざすまちの姿

I-1-(1) 安心して子どもを産み育てられる環境の充実

■めざす姿

妊娠、出産及び子育てに関する必要な情報や支援が提供され、不安や悩みが軽減されている。

■まちの状態指標

| 指標名 | 現状値 | めざす方向 |
|--|-------------------|-------|
| 子育て世帯のうち、「出産、子育てがしやすいまち」として満足している割合【出典：市民意識調査】 | 66.5% (2016年度) | ↑ |
| 就学前児童のいる世帯のうち、子育てに自信がない市民の割合【出典：豊田市子ども・子育て支援に関する市民意向調査、豊田市子ども・青少年の生活と意識に関する調査】 | 44.5% (2013年度) | ↓ |
| 近所で児童虐待を受けていると思われる子どもを見つけたとき、市役所、児童相談所、警察等に連絡できる市民の割合【出典：市民意識調査】 | 61.1% (2016年度) | ↑ |

■施策の背景

- 若年妊娠など十分な知識を持たないまま子どもを生む保護者の存在や子育てに自信がない、子育て仲間がいない保護者の割合が増加するなど、子どもと子育て家庭をめぐる様々な問題が顕在化してきています。
- 本市では、保健や保育の専門職による助言や相談、情報提供の充実、子育てに伴う経済的な負担の軽減のほか、地域の子育て支援者や子育て家庭同士の交流促進など、段階に応じた子育て支援の取組を進めてきましたが、今後も継続した対応が求められています。
- また、子育ての悩みのほか予防せぬ妊娠や不妊・不育に悩む人が存在するなど、命の尊さや親の役割、妊娠・出産などについて正しく学び、若年層から自分の将来と向き合うことが重要となっています。
- 一方、家庭における経済的困難や養育能力の低下など様々な問題を背景に、児童虐待に関する相談が増加傾向にあります。関連機関との連携強化や発生予防の取組を進めるとともに、虐待の早期発見に向け、地域で見守り、児童相談所等へ連絡できる意識の醸成や環境づくりが求められています。



ふれあい子育て教室

76

■施策の背景

・施策に関する社会動向やこれまでの取組・成果を踏まえた現状や課題を記述しています。

■まちの状態指標

- ・「めざす姿」にどの程度近づいているかを定量的に確認するための指標名、現状値及び実践計画が終了する2025年に向けてめざす方向を示しています。
- ・現状値を把握していない指標は、「—」とし、今後、把握していきます。
- ・めざす方向の、「↑」は上昇・増加、「↓」は維持、「→」は低減・減少を示しています。

■施策の柱 ・「めざす姿」の実現に向け、前期実践計画期間内(2017年度～2020年度)に優先的に取り組んでいく内容を示しています。

1 子ども・子育て 1 子育て (1) 安心して子どもを産み育てられる環境の充実

■施策の柱

① 相談体制・支援サービスの充実

- 妊娠期から子育て期における不安や悩みの軽減を図るため、身近に相談できる体制の整備や交流機会の提供など、段階に応じた子育て支援サービスの充実を図ります。

| 指標名 | 現状値 | 目標値 |
|-----------------------------|-----|--------------------|
| コールセンターにおける育児に関する相談で解決できた件数 | — | 1,200件 (2020年度) |

② 若年層に対する妊娠・出産と向き合う機会の充実

- 将来親になることに向き合うため、命の尊さや親の役割、性に関して正しく理解を深める機会を充実します。

| 指標名 | 現状値 | 目標値 |
|--|--------------------|--------------------|
| 命の尊さや親の役割、性教育を学ぶ機会に参加した大学生以下の延べ人数(市実数) | 4,479人 (2015年度) | 6,500人 (2020年度) |

③ 児童虐待防止対策の推進

- 児童虐待の早期発見や早期対応を行うため、子どもや保護者、教職員に対して正しい知識の普及や発生時における対応方法などの教育を推進します。

| 指標名 | 現状値 | 目標値 |
|---------------------------|--------------------|--------------------|
| 虐待防止教育のワークショップへの参加者数(市実数) | 3,945人 (2015年度) | 4,500人 (2020年度) |

■主な実践計画事業

| 社 | 事業名 | 事業概要 |
|---|------------------------|---|
| ① | とよた急病・子育てコール24運営事業(再開) | 24時間365日いつでも救急医療相談と子育て相談ができるコールセンターを運用 |
| ② | おめでとう訪問事業 | 母子保健推進員が、生後1～3か月の乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育てに関する相談や各種教室・相談機関等の情報を提供 |
| ③ | 思春期教室事業 | 中学生を対象に、性や命の尊さ、妊娠・出産等に関する教育、赤ちゃんともとのふれあいによる子育ての疑似体験を実施 |
| ④ | 児童虐待防止教育推進事業 | 幼児、児童、生徒及びその保護者、教職員を対象に、CAP(子どもへの暴力防止)プログラムによる児童虐待防止の教育を実施 |

■成果指標

- ・「施策の柱」として設定した取組がどの程度達成できたかを定量的に確認するための指標名、現状値及び目標(目標年次)を示しています。
- ・現状値を把握していない指標は、「—」とし、今後把握していきます。

77

■主な実践計画事業

・施策を推進する代表的な事業の名称と概要を示しています。